

ⅩⅡ. お住まいの地震対策について（問 28～問 30）

発生が危惧される大地震に備え、耐震性が低い可能性がある昭和 56 年以前に建築された住宅の耐震化を推進するために皆様のご意見をお聞きします。

<問 28～30 は、昭和 56 年 5 月 31 日以前に建てられた住宅を所有されている方にお聞きします。>

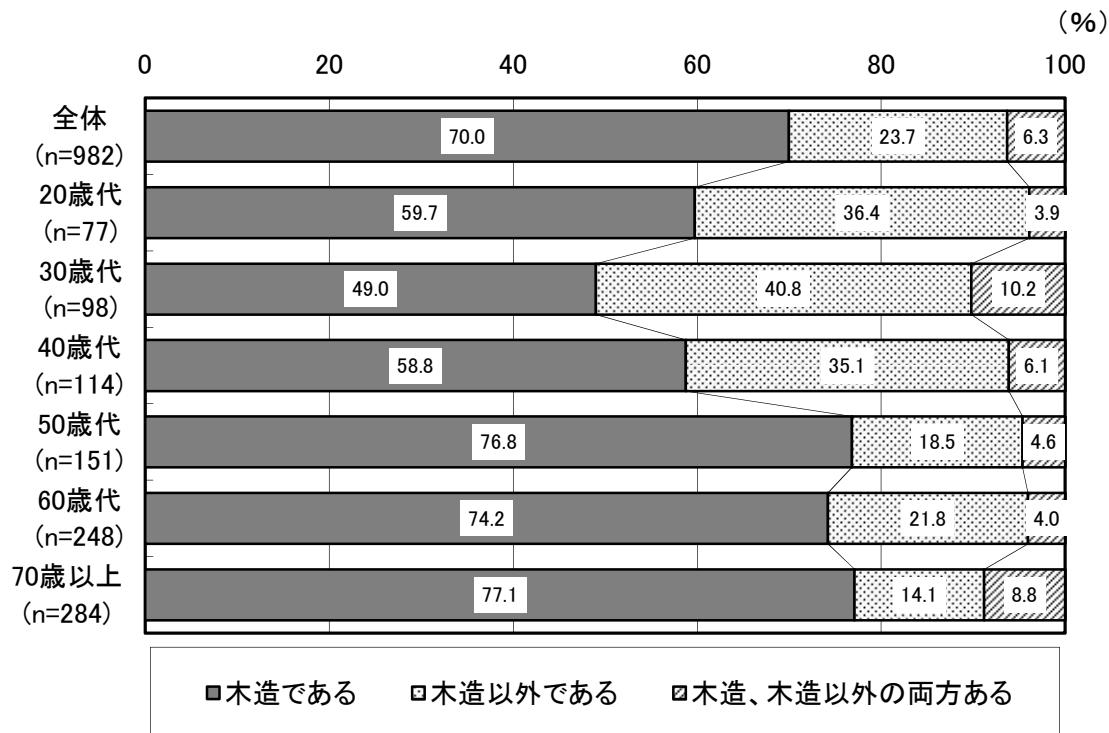
【問 28】住宅は木造ですか、木造以外（鉄骨造、鉄筋コンクリート造等）ですか。（n=982）

（1）全体的傾向

「木造である」と回答した人は約 70%を占め、「木造以外である」と回答した人は約 24%となっている。

（2）年代別にみた特性

50 歳代～70 歳以上では、「木造である」と回答した人が約 74%～77%を占めており、他の年代と比べ高くなっている。一方、30 歳代では、「木造以外である」が約 41%となっている。



【問 29】あなたは所有されている住宅に対して、どのような地震対策をしていますか。(n=1,179)

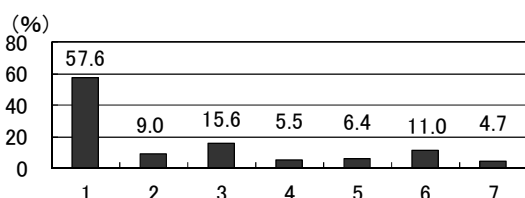
(1) 全体的傾向

「地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と回答した人の割合が約58%と最も高くなっている。次いで、「建物の耐震診断を受けた」と回答した人が約16%となっている。

(2) 年代別にみた特性

各世代とも、「地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と回答した人が約55%～63%を占めている。

●全体(n=1,179)

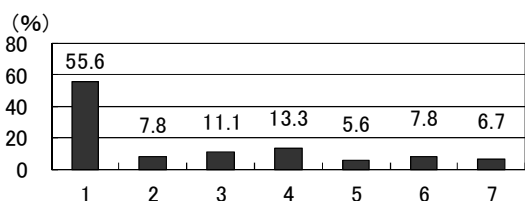


1. 地震に対する不安はあるが、特に何もしていない
2. 建物の耐震診断を受けたいと思っている
3. 建物の耐震診断を受けた
4. 建物の耐震改修をしたいと思っている
5. 建物の耐震改修をした
6. 地震に対する不安はない
7. その他

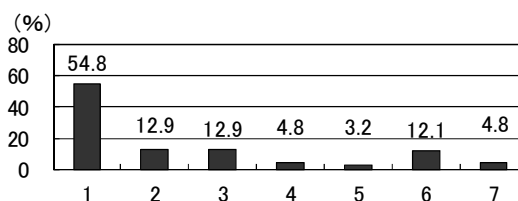
(複数回答)

●年代別

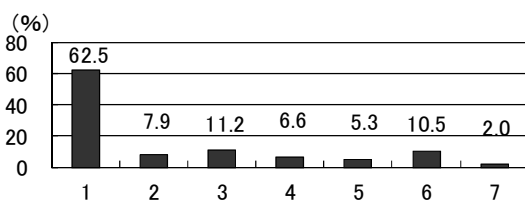
20歳代(n=90)



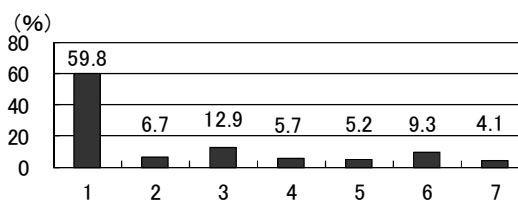
30歳代(n=124)



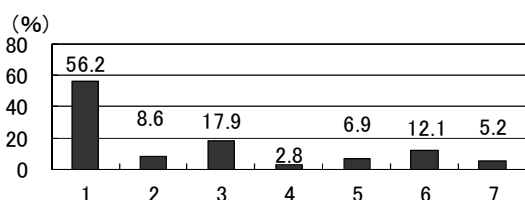
40歳代(n=152)



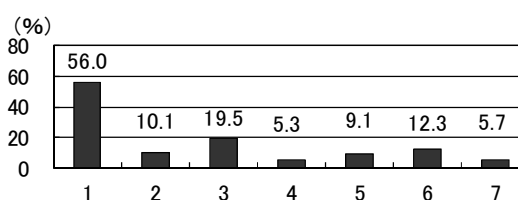
50歳代(n=194)



60歳代(n=290)



70歳以上(n=318)



<問 29 で「1. 地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。>

【問 30】何もしていない理由は次のうちどれですか。(n=640)

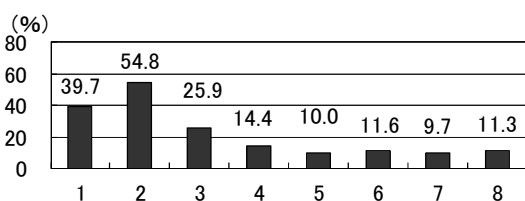
(1) 全体的傾向

「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が約 55%と最も高く、次いで、「耐震診断にお金がかかる」と回答した人は約 40%となっている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が約 47%~61%と最も高くなっている。一方、30 歳代では、「耐震診断、改修をどこに頼めばよいのかわからない」と回答した人の割合が約 29%となっている。

●全体(n=640)

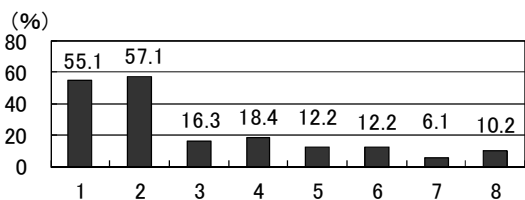


1. 耐震診断にお金がかかる
2. 耐震改修にお金がかかる
3. 耐震改修しても安心できない
4. 耐震診断、改修をどこに頼めばよいのかわからない
5. 耐震改修期間中、生活が不便になる
6. 長期にわたって住む予定がない(新築、移転等の予定がある)
7. 耐震診断を行って、耐震性がないと知るのが怖い
8. その他

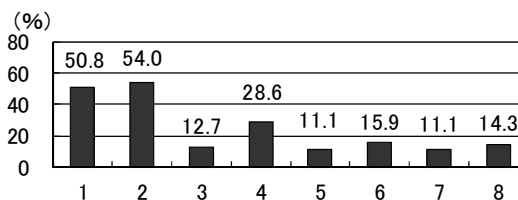
(複数回答)

●年代別

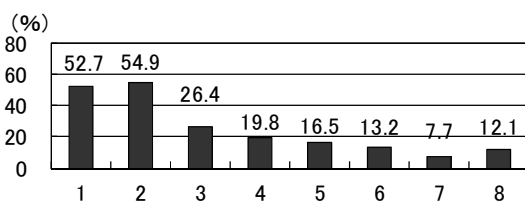
20歳代(n=49)



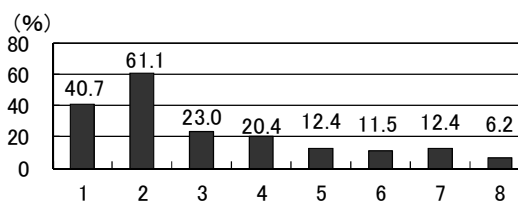
30歳代(n=63)



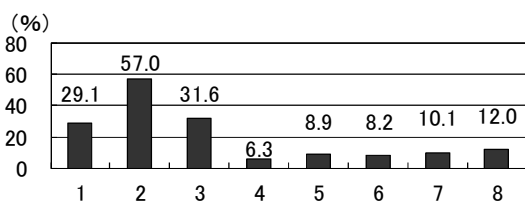
40歳代(n=91)



50歳代(n=113)



60歳代(n=158)



70歳以上(n=157)

